

(様式例) 令和6年度都立桜町高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で指導事項について確認し、生徒の実態に合わせた授業を実施する ・校内でのビブリオバトル実施、東京都で実施される大会に参加する ・「話すこと」の能力向上のための校内研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み、書き、語彙を身につけるための指導を充実させる ・「話すこと」の能力向上のためにディベート、プレゼンテーションを取り入れた授業を実施する
地理歴史	基礎学力の充実と発展的学習の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史総合」・「地理総合」で基礎知識を充実する取り組みを行う。 ・「日本史探究」・「世界史探究」「日本史B」「世界史B」「地理B」で発展的学習を行う力を身につける。 	日本や世界の歴史文化や地理に対する理解を深め、問題意識を持って課題に取り組む力を身につける。
公民	基礎学力の充実と発展的学習の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共」で基礎知識を充実させ、それらを土台にして思考させる取り組みを行う。 ・「政治・経済」・「倫理」で発展的学習を行う力を身につける。 	主権者教育など発展的な学習を通じて、社会人として必要な技能・知識・問題解決力を身につける。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の充実 ・数学的な考え方の定着 ・学習意欲の伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本を重視した理解しやすい授業の展開、家庭学習を促す指導 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を展開 ・理解度に応じてより進んだ学習への意欲を引き出す授業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎の定着度を課題やテストで確認し、応用へとつなげていく指導の継続 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	理科への関心を高めるための授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって分かる授業の実施 ・日常生活や社会との関連を重視した教材の開発 ・視覚的にわかりやすい実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と絡めた実験の実施(演示実験を含む) ・生徒一台端末を活用した映像教材等の作成 ・目に見えない事象のモデル化教材の開発
体育	体育への関心を高めるための授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって分かる授業の実施 ・日常生活や体育の関連を重視した教材の開発 ・視覚的にわかりやすい実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を生かした「できる喜び」を感じられる授業 ・生涯スポーツに向けて生徒同士で学び合える授業
保健	保健への関心を高めるための授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって分かる授業の実施 ・日常生活や保健との関連を重視した教材の開発 ・視覚的にわかりやすい実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康だけでなく家族の健康について考えられる授業 ・知識、技能を日常生活での実践につなげる授業
外国語 (英語・中国語)	「使える外国語」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT・JETを活用した、実践的な speaking・writing指導の実施 ・年間を通じてパフォーマンステストを実施 ・All Englishでの内容理解 ・毎週、英単語テスト・リスニング・長文読解を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国にある姉妹校との異文化交流の実施 ・TGGにおける実践的活動 ・JETとの英会話サロンの実施
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生涯を見通して生活の課題を解決する力の育成	学びを生活に生かす力の育成のため、生活を意識した問いや、考えを共有する授業を実施する。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養うため、授業内や家庭での実習を実習する。
情報 I	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は問題解決型実習を多く掲載しているものを選定する。 ・様々な分野の教材を導入し、一般社会での課題の解決を題材とした実習を行う。 ・問題解決をするうえでプログラミング実習を多く実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人口動態、産業構造、貿易収支等、様々な統計資料を利用して分析・シミュレーションを行い、生徒の多方面における問題解決能力を養う。